



作品社刊「オリンピックに反対する側の論理」

発売記念トークイベント

「オリンピック批判と沖縄」



オリンピック
反対する側の論理

東京・パリ・ロスをつなぐ世界の反対運動

ジュルズ・ポイコフ
井原聡子・橋本健一/小笠原博隆 監訳

作品社

● 日時： 2021年 **5月4日** (**火祝**) **15時**～

● 会場： ジュンク堂書店那覇店 B1F イベント会場

★トーク出演 **鶴飼 哲** (一橋大学名誉教授)

仲里 効 (批評家、『越境広場』編集委員会)

田仲 康博 (メディア論、沖縄大学)

※座席数には限りがございますのでご了承くださいませ。

トークイベント終了後サイン会も開催致します。

ご来場の際にはマスクの着用をお願いします。

鶴飼 哲 (うかい さとし)

1955年生まれ。一橋大学名誉教授、一橋大学大学院言語社会研究科特任教授。フランス現代思想史、特にジャック・デリダ研究で著名。「インバクション」編集委員。原発・天皇制・オリンピックなど様々な問題について、精力的に抗議声明・運動を行っている。著書に「償いのアルケオロジー」(河出書房新社1997年)、「抵抗への招待」(みすず書房1997年)、「主権のかなたで」(岩波書店2008年)、共著に「なぜ、いまヘイト・スピーチなのか―差別、暴力、脅迫、迫害―」(三一書房2013年)、「反オリンピック 宣言」(航思社2016年)、共編著に「『ショーア』の衝撃」(未来社1995年)、「『日の丸・君が代』を超えて」(岩波書店1999年)など多数。

仲里 効 (なかざと いさお)

1947年、沖縄南大東島生まれ。法政大学卒。1995年に雑誌「EDGE」(APO)創刊に加わり、編集長。主な著書に「遊撃とボーダー」(未来社、2020年)、「『眼は巡歴する』」(未来社、2015年)、「悲しき重言語帯」(未来社、2012年)など。

田仲 康博 (たなか・やすひろ)

1954年、沖縄本島生まれ。国際基督教大学で教鞭を取った後、現在は沖縄大学地域研究所研究員、法政大学沖縄文化研究所国内研究員。主な著書に「風景の裂け目―沖縄、占領の今」(せりか書房、2010年)、「『占領者のまなざし―沖縄/日本/米国の戦後』」(編著・せりか書房、2013年)など。